

かけはし



国際交流ふれあいボウリング



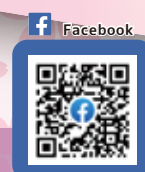
祝おう！旧正月 2025



国際交流ふれあいウォーキング



外国人向け交通安全教室



外国人向け防災教室

iビル3階シビックテラス、尾張一宮駅前広場 11月4日

外国人向け防災教室とのイベント名でしたが、地震体験、AED講習、避難所案内、交通安全教室、防犯注意喚起コーナーなどが設置されていました。

地震体験車両「なまず号」での実際の地震体験は防災意識を高めることができ、人気となっていました。オーストラリア出身の20代男性は地震体験車に「これが実際におこると思うと怖い」と感想を述べていました。

AED講習では実際にダミー人形を使用して



の講習、避難所案内コーナーでは段ボールベッドに横たわることができました。

交通安全教室では自転車の正しい乗り方のイラストを使った説明書、自動車のシミュレーション運転など盛りたくさんの体験ができるイベントでした。

また防犯注意喚起コーナーではイラストを使って多言語の振込詐欺注意喚起パンフレット、説明書も用意されていました。それらの説明、案内には多数の学生ボランティアの協力もあり、場内を盛り上げていました。訪れた外国人に防災防犯意識を高めてもらう良い機会だったと思いました。(あんちゃん)

外国人向け交通安全教室

尾西自動車学校 1月18日

一宮警察署の交通機動隊員4名による自転車運転の安全指導が行われました。参加人数は15名（ボランティア3名含め）でした。

まずは隊長からヘルメット未着用時の危険性について説明のあと、隊員が自転車走行時に転倒するデモンストレーションがありました。隊員が宙を舞って倒れるパフォーマンスには全員から「わーっ!」と驚きの声があがりました。次に自転車の交通違反デモンストレーションを見て7つの交通違反を当てるクイズがあり、参加者が



全問正解したので褒めてもらいました。そのあと自動車学校の教習コースに出て、全員が自転車での安全な走り方について実

技指導を受けました。

参加者の感想としては、「デモンストレーションによる説明はわかりやすくとても役に立っ

た」「ルールはだいたいわかっていただけ改めて再認識ができた」「日本語での説明が少し早くてわかりづらかった」などの意見がありました。

自転車運転中に自分の身や歩行者を守るためのルールをわかりやすく指導され、外国人のみならず日本人にとってもたいへん有意義な交通安全教室だったと思います。(katsu)



在留手続相談会

向山公民館、三条つどの里 12月8日

名古屋出入国在留管理局の入国審査官を招き、在留手続や日常生活の困りごとについて無料で相談できる会が市内の2か所で開催されました。相談会は、英語、タガログ語、ベトナム語、中国語の通訳が入り、在留資格の更新手続だけではなく、就労可能な職業や家族の悩みごとなどさまざまな相談が寄せられました。

日本語の教え方セミナー 受講体験談

神山公民館 12月14日、21日

●「日本語の教え方セミナー～外国人の子どもに日本語を教えてくださいませんか?～」(14日開催)を受講●

日本語ひろばジュニアボランティア 田中すみれさん

かねてから、外国人への日本語教育に興味があり、日本語ひろばジュニアにボランティアとして参加しています。日本語の習得状況に応じて子どもたちに平仮名や日常会話を教えたり、学校の教科書を一緒に読み解いたりしています。子どもの成長を感じる楽しい時間ですが、教員免許も日本語教師資格もない私は教え方に自信が持てないこともありました。なかでも、日常会話に問題ない子が学校の授業についていけない場合の教え方は分かりませんでした。

今回、日本語の教え方セミナーに参加し、日常会話で使われる「生活言語」(例: まっすぐ線を引こう)よりも授業や教科書で使われ

る「学習言語」(例: 直線を引きなさい)の方が習得に必要な年数が長いため、学年相当の学習言語を習得できず、結果的に学校の授業についていけないことを理解しました。今後は、ひとりでも多くの子どもが学校の授業も楽しめるよう、セミナーで説明のあった「生活言語でありつつ学習の助けになる言葉」も使いながらボランティア活動に励みたいと思います。



●「日本語の教え方セミナー～日本語を外国語としてみると…～」(21日開催)を受講●

日本語ひろばびさいリーダー 服部 洋子さん

日本語ひろばの活動に生かせるヒントを求めて、12月21日の講座に参加しました。

講師の伏屋先生の講義を聞き、その後グループで文法の問題を解いたり、フラッシュカードの使い方などの実践練習も行いました。初対面の4人でしたが、形容詞や動詞の例外の用法に頭を悩ませ、慣れないフラッシュカード※の練習をしていくうちにすっかり打ち解け、和やかな雰囲気を受講することができました。



今回のセミナーで特に印象に残ったのは「みんなの日本語」の本の

教え方についてです。テキストの上から順に教えるのではなく、ある文型に対して関連する例文を教え練習し、他の文型に進むというやり方です。これですっきり納得ができたので日本語ひろばでも実践したいと思いました。

先生との雑談の中で、これからの日本語教育では話す力も重点が置かれることや、日本語ひろばでは生徒により近く寄り添える活動も大切であることに気づかされました。2時間のセミナーで盛りだくさんの内容でしたが、充実した時間になりました。

※フラッシュカード…単語や絵などが書かれたカードで、語彙力を向上させる際に使用するもの

国際交流ふれあいウォーキング

大野極楽寺公園 10月26日

当日午後の暖かい日に、一般参加者21名と国際交流協会スタッフ、ボランティアが集いました。小学2

年生から70代まで年齢幅広く、ベトナム、アメリカ、中国、ニュージーランド、イタリア、日本と出身が違う人達が6グループに分かれてルートに沿ってウォーキングをしました。森から展望台、木



曾川を臨む堤防、再び森を抜けてスタート地点に戻る約4kmのコースを、チェックポイントでクイズに答えながら歩くイベントでした。ウォーキング後はレジャーシートに座っ



てお菓子をつまみながら歓談しました。その後、国際交流員のアリスさんが紹介したニュージーランドマオリ族の遊びや、ダーカウと呼ばれるカラフルな羽根を蹴り上げるバドミントンのようなベトナムの人気スポーツなどを、初対面の人達が入り混じって和気あいあいと外遊びを興じました。また、英語しか理解できない近所の犬と戯れたり、おしゃべりしたり、それぞれの時間を過ごすうちにあっという間に解散時間の夕刻になり、笑顔の挨拶でお別れしました。初めての人や日本語を話せない人でも参加できるイベントでした。次はあなたも気軽に参加してみてはいかがでしょうか！



(かんざき)

国際交流ふれあいボウリング

アソビックスびさい 1月18日

市内在住の日本人と外国人総勢36人（日本を含め7カ国）が参加し、9チームに分かれて競い合いました。

15時からスタートし、途中休憩を挟み2ゲームの試合を行いました。家族連れの参加も多く、ちびっ子が8人もいたおかげで賑やかでアットホームな雰囲気となりました。ガター防止バ



ンパーやボウリング滑り台などのおかげで、ちびっ子でもたくさんピンを倒すことができ、大はしゃぎでした。大人も負けじとストライクを狙って力投し、成功した時はチーム仲間とハイ

タッチし喜び合っていました。そして隣のレーンのチームからも温かい祝福をもらい、笑顔で挨拶を返していました。

全チームのゲームが終了後、全員で記念撮影をし表彰式に移りました。2ゲームの結果で、ハイスコアの個人3人とトータルスコアが高い3チームが表彰され、可愛い賞品をもらいました。みんなの温かい拍手に少し照れながらもうれしそうな表情はとても晴れやかでした。

いろいろな国の老若男女が一緒にお互いを励まし合い、ちびっ子をサポートしながらたくさん笑顔でボウリングを楽しんでいる姿を見て、とても幸せな気分になりました。

(katsu)



祝おう！旧正月2025

i-ビル3階 シビックテラス 2月2日

旧正月を最も重要な祝日とする国がアジアにはあります。「祝おう！旧正月2025」が開催されました。ベトナムの伝統的な遊び、韓国でのあいさつ作法、旧正月にまつわるクイズ、熱々の水餃子を出す中華屋台、中国大黄河雑技団による獅子舞などアジア各国のお祝いムードを楽しみました。

中国大黄河雑技団による獅子舞は11時と14時に登場。鮮やかな金色と紅色に輝く獅子が力強く舞い、跳ね、会場の人々の頭を大口でかじるポーズで1年の縁起を担いでくれました。「春聯」書道コーナーでは、子どもたちが紅色紙に「福」などの縁起よい字に筆を滑らせていました。中国では家の玄関に貼るそうです。各国衣装の好きな服で記念撮影するコーナーでは、白・水色・ピンクで彩られた衣装を目をキラキラさせて選ぶ女の子の可愛さが伝播して、周りに微笑みの輪を広げていました。

ベトナム北部に伝わる遊び「ムアシャップ」が、一宮駅に登場。竹の棒を2人で並行に持ち、開いて閉じるリズムに合わせて竹の間をテンポよく跳ねていきます。本場では何十人も並び、竹の動きが川のさざ波のように動く中を皆で連続して飛び



跳ねていくそうです。タイミングをつかむまでコツが要ります。

旧正月のベトナム伝統料理「バインチュン」。もち米、インゲン、豚肉などの具を葉で四角に包んでから蒸す時間はなんと10時間。蒸し上がるのを待つ間、親戚や家族でおしゃべりを楽しむそうです。バインチュンのペーパークラフトを作るコーナーもあり、故郷を懐かしむベトナムの方もいたことでしょう。

韓国の伝統的な遊びである「投壺」。矢を壺に入るように投げるのですが、意外に難しい。4本連続で入るまで何度もトライする人もいて、3人がパーフェクト点獲得。ランキングトップに名が書かれたボードと記念撮影する笑顔が弾けてました。韓国旧正月の朝のあいさつ「セベ」。韓国人の寅ちゃんがユーモアを交えながらやり方を実演。祖父母などの目上の方へ、次に父母へ、親戚へ、と挨拶をしていくと2時間近くかかるのだとか。セベを終えたらみんなで朝ご飯を食べるそうです。

異文化を知るのは面白いですね。一宮に住む皆さんにとって良い1年でありますように！

(かんざき)



イベントボランティア体験談



近藤和美さん

「祝おう！旧正月2025」は、冬の半屋外での開催でしたが、大勢の人で賑わい、あたたかな笑顔あふれるイベントとなりました。

来場者は、民族衣装体験やクラフト・伝統遊び体験、異文化理解クイズなどに参加し、大人も子どももそれぞれに楽しむ姿が印象的でした。また食べ物の販売もあり、食事ゾーンでは温かい軽食でひと息つく姿も多く見られました。

中国の獅子舞披露の際には、獅子が登場し会場内を練り歩くと、その華やかな姿とダイナミックな動きに感嘆の声がこぼれ、歓声が上がっ

ていました。

各国の旧正月を体験するイベントを通じ、抱いた思いがあります。国や地域によって旧正月の祝い方はさまざまですが、新しい年を祝うこと、自分や家族の健康を願うことは共通しています。皆が祈る幸せがこの世界を満たし、人々の笑顔が満開になりますように。そう願わずにはいられませんでした。



日本語ひろばジュニアクリスマス会

神山公民館 12月21日

日本語ひろばジュニアの生徒、保護者、ボランティア約50名が参加しクリスマス会が開催されました。

ボランティアと子どもたちの元気な「メリークリスマス!」のあいさつ、弾けるクラッカーの音で開会式となりクリスマス会が始まりました。

続いて国際交流員キアラさんによるレクリエーションではイタリアの「あひるダンス」を皆で楽しく踊りました。



ゲームタイムでは、カタカナを使わず問題を出す「ノーカタカナゲーム」、子どもたちだけでなく保護者の応援も熱が入った「かるた取り」を楽しみました。

また、全員で行った「だるまさんがころんだ」では普段行わない大人数だったので子どもたちはとても楽しそうでした。

次はぬいぐるみや文具など豪華な賞品が揃ったビンゴゲームを行いました。子どもたちはもちろん保護者たちも段々と真剣な表情になり数字が揃いビンゴ!となったときの嬉しそうな表情がとても印象的でした。

ビンゴは言葉の壁も世代も越え、万国共通のワクワク感にあふれ、その場が一体となる、本当に素晴らしいゲームだと改めて感じる事がで

きました。クリスマス会が終盤に差し掛かりクリスマスソングを皆で歌うことになりました。ここでなんとサンタクロースの登場です!! 子どもたちは驚きと喜びに包まれた様子で、元気よくサンタさんと一緒に歌っていました。



閉会式では集合写真を撮り、サンタさんからのプレゼントなど1時間30分のクリスマス会でしたが、たくさんのドキドキやワクワクがぎゅっと凝縮された時間であったと思います。一年に一度のクリスマス会が子どもたちの良い思い出となり、いつまでも心に残ることを願っています。
(maru)



日本語ひろばジュニアボランティア体験談

西村 彩花 さん

今回初めて、クリスマス会の運営を行いました。子どもたちに喜んでもらえるよう、たくさんの方にご協力いただき、子どもの笑顔がたくさん見られるような会にすることができたと思います。日本語ひろばジュニアは、幅広い年齢の外国にルーツを持つ子どもたちが通っています。子どもたち全員が楽しめるような企画を考えることは難しかったですが、クリスマス会が終わったあと、1人の子どもが「今日はとても楽

しかった。また参加したい」と言ってくれてとても嬉しかったです。

今後も子どもたちの笑顔がたくさん見られるように、日本語ひろばジュニアの活動に繋がっていきたいと思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



おとなりさん



ネパール出身のカルキ ダルバハドゥルさんを紹介いたします。カルキさんはネパールとSKY日本語学校で日本語を学び、名古屋経済大学で経済学を専攻しました。卒業後、一宮市にある株式会社グリュックに入社して、2024年10月に株式会社グリュックが開校したVEGA日本語学校で働いています。

VEGA日本語学校には、現在ネパールの学生21名が在籍しています。受け入れ対象国は学校運営が落ち着くまでネパールのみですが、数年後には他の国からも受け入れたいと考えているとのこと。

カルキさんは、VEGA日本語学校の開校に携わり、現在、ネパールの留学生たちの募集活動や生活面でのサポートをしています。日本とネパールのかけはしになりたいそうで、将来は自国に帰り、政治家になってネパールをもっとよくしたいと

話していました。最近、日本のお札が新しくなりましたが、紙の素材にはネパール産のミツマタが使われているそうです。日本とネパールのつながりを感じますね。

一宮市は、以前住んでいた名古屋市の千種区に比べて町がとても静かで穏やかだと感じます。またお年寄りに出会うと「こんにちは」と言ってもらえるのが嬉しいし、病院に行ったときなど看護師さんやほかの人から「大丈夫ですか」と声を掛けてもらえることもあり、本当に優しい人が多いと感じているそうです。

最後に、一宮市にいろいろな国の文化を紹介する広場や、いろいろな国の人が国際交流できるところがあればいいなと話してくれました。

(みかん)

ネパール語をちょこっと

- ・ こんにちは = ナマステ
- ・ ありがとう = ダンネバード
- ・ エベレスト = サガルマータ

ia information

一宮駅に外国人生活相談窓口を設置します！

2025年度から毎週金曜日のみ尾張一宮駅前ビル内に相談窓口を設置します。外国人市民の方の生活に関する相談等を受け付けますので、ぜひご活用ください。

▼日 時 / 毎週金曜日 午前10時から午後4時30分まで (2025年8月15日、2026年1月2日、3月20日を除く)

▼場 所 / 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 3階 市民活動支援センター内(一宮市栄3丁目1-2)

外国人向け日本語教室のご案内

日本語ひろばいちのみや

(大人向け)

▼日 時 / 毎週日曜日(第3日曜日・年末年始を除く) 午前10時から12時15分

▼場 所 / 向山公民館

▼申込み / 不要

日本語ひろばびさい

(大人向け)

▼日 時 / 毎週日曜日(第1・5日曜日・年末年始等を除く) 午後2時から3時45分まで

▼場 所 / 三条つどいの里

▼申込み / 不要

日本語ひろばジュニア

(小中学生向け)

▼日 時 / 毎週木曜日 午後6時から7時30分

毎週土曜日 午前10時から11時30分 (いずれの日も祝日・年末年始等を除く)

▼場 所 / 神山公民館

▼申込み / 一宮市国際交流協会までご連絡ください。

*各イベントの詳細につきましては後日ウェブサイトにて公開いたします。



マジックは、国によって楽しみ方が違う

鵜飼 太士 さん

僕がマジックを始めたのは小学生の頃、友人が簡単なトランプマジックを教えてくれたことがきっかけでした。中学生になっても「新しいマジックを覚えれば、新しい不思議が手に入る」という好奇心は止まりませんでした。

高校1年生でアメリカ・バージニア州に1年間の語学留学に行き、マジックをやっていたよかったとより強く思うようにな



りました。当初は英語でのコミュニケーションがむずかしく友達作りに不安を感じていましたが、マジックがきっかけで学校で人気者になることができました。学校へ行けば Freshman～Senior（日本の14歳～18歳の学年）の皆が声をかけてくれて、アメリカ高校生活最大のイベント「プロムパーティー」ではプロムキングにも選ばれました。

国内外でマジックを見せていると感じるのは、「驚き方」にはその国の文化や背景が大きく関わっているということです。アメリカではマジックを芸術の一つとして楽しむ文化があります。演劇や舞台を鑑賞する延長線のようなところにマジックもあります。留学中の僕にとって最大の追い風となったのは「マジックは



素直に楽しむもの、タネ探しは野暮である」という共通認識でした。「オーバーリアクション」という言葉がありますが、思い返せばまさにその言葉がふさわしい反応が返ってきました。

一方で日本のマジックの楽しみ方はアメリカのそれとは異なります。テレビでは「種を見破ったら賞金」や「マジシャンvs観客」といった演出が必ずあります。マジックそのものを楽しむよりもトリックを見破ることを楽しみにテレビを観ている方も多いのではない



でしょうか。そしてマジックを見た後は頭の中で起きた現象を一度考察して、「それでもわからない」「すごい」と味わいながら驚くのが日本人らしいリアクションなのかもしれません。国によって楽しみ方や驚き方が違うのもマジックの面白いところですね。

そもそも日本では目の前でマジックを見る機会は少ないかもしれませんが、テレビで見るのと実際にマジックを体験することは全然違います。機会があればぜひ体感してみてください。

プロフィール

愛知県一宮市出身1997年9月8日生まれ(27歳)
マジック界の殿堂アメリカ・ハリウッド「Magic Castle」にメンバーとして認められる。

2025年よりUAEドバイに拠点を据えるなど国際的に活躍するプロマジシャン。



編集後記

2025年を迎えましたが、まだまだ不穏な世界情勢が続いています。遠い国の話ではなく、私たちの暮らしにもさまざまな影響が出ています。少し前までは、あちこち外国に行ってみたいとのんきに思っていたのに、どんどん波紋が広がってきそうで、子どもたちの未来がとても心配に思える今日この頃です。（日野）

発行：一宮市国際交流協会（〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市役所本庁舎9階 観光交流課内）

一宮市の国際交流協会の中心となって活躍いただく親善ボランティアを随時募集しております。

みなさんも親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。

*この「かけはし」も親善ボランティアにより取材・編集されています。

ご意見・ご感想をお待ちしております。【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイトをご覧ください。【WEB:<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/ia/>】